

広域振興局長

提出者 盛岡ターミナルビル株式会社  
 住所 岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44  
 氏名 代表取締役社長 松澤 一美

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	盛岡ターミナルビル株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3864 6.945 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

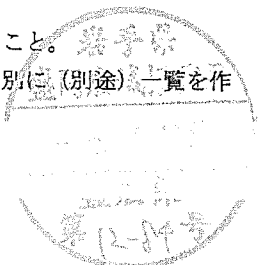
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
フェザン及びホテルメトロポリタン盛岡	〒020-0034 盛岡駅前通1番44号	4,077 kL
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通2番27号	2,569 kL
ホテルメッツ北上	〒024-0061 北上市大通1丁目1番34号	549 kL

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に(別途)一覧を作成の上、添付してください。

(A4)





別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	前年度の排出量 (D) (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
揮発油	kℓ		2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
灯油	kℓ		2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
軽油	kℓ		2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
A重油	kℓ		2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	29 t	38	3.00 t-CO <sub>2</sub> /t	87.0	90	▲ 3	
	石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>		2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO <sub>2</sub> /t				
	その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>		2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
石炭	原料炭	t		2.61 t-CO <sub>2</sub> /t				
	一般炭	t		2.33 t-CO <sub>2</sub> /t				
	無煙炭	t		2.52 t-CO <sub>2</sub> /t				
石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t					
コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t					
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
その他の燃料	都市ガス	582 千m <sup>3</sup>	676	2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	1297.9	1253.3	4	
	( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )				
	( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )				
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
温水	14393 GJ	505	0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ	820.4	824.7	▲ 1		
冷水	10951 GJ	384	0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ	624.2	594.1	5		
小計		1603		2829.5	2762.1	2		
電気	電気事業者	昼間買電	6695 千kWh	1722	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	3267.2	3066.9	7
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	4049 千kWh	1042				
		夜間買電	2250 千kWh	539	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	1098.0	1009.1	9
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計	8945 千kWh	2261		4365.2	4076	7		
合計		3864		7194.7	6838.1	5		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量	千kWh			t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

## 2 地球温暖化対策計画の達成状況

### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

CO2排出量1%以上の削減を目標としていたが、コロナ禍からの回復による宿泊客増加に伴い、エネルギー使用量が増大した。

### 【具体的な取組状況】

- ・フェザン高圧変圧器をトッランナー変圧器へ交換は2台実施。
- ・使用していない箇所の冷暖房の停止及び照明の消灯は随時実施している。
- ・空調用インバーターの設置については、半導体の供給が年度内に間に合わず今年度実施することとなった。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

## 3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・一般廃棄物の排出量1%削減
- ・グリーン商品購入実施率100%を継続
- ・リサイクル率1%の増加
- ・業務用紙の再生紙利用率100%を継続する。